

議会だより いとだ

第39号

令和5年11月発行
(2023年)

令和5年
9月定例会

福岡県糸田町議会



◀9月18日の
田川大会の
様子▼

▲男子4位



女子3位▶

- p 2 まちはどうなっちゃんと
- p 3 特別委員会活動報告
- p 4 一般質問(町政を問う)
- p14 委員会審査
- p15 研修報告



新入部員は
別メニュー
で練習!



特別委員会活動報告

第3回定例会で開催した特別委員会の概要の報告。

特別委員会って？
常任委員会とは異なり、特定の付議事件の審査のため臨時的に設けられるもので、目的を達成すると解散するよ！



地域活性化特別委員会

委員長：谷口 輝昭 副委員長：白銀 秀樹

地域活性化特別委員会とは？

住民生活に影響をおよぼす昨今の災害状況を鑑みた防災対策ならびに本町発展のための施策に関する調査・研究をおこなうための特別委員会。令和5年第2回定例会で設置が決定。

第3回定例会では、皆添橋の渋滞問題と佐賀県太良町の町立太良病院に視察研修をすることを議論した。

皆添橋の渋滞問題



長年問題となっている皆添橋付近の渋滞問題。このことについて、委員間で少しでも解消できないかを議論。まずは実態を把握するために執行部へ調査を依頼した。

時間帯によってはまったく進まない時もあるんだって。



佐賀県太良町の町立太良病院に視察予定



▶平成18年4月1日開院
(新病院移転による)

糸田町立緑ヶ丘病院の建替構想が進む中で、先進地の視察をした方がよいと意見があり、同じ公立病院として収益を伸ばしている佐賀県太良町にある町立太良病院への視察が決定した。



まちは どうなっちょうと



糸田アリーナ駐車場（予定地）



糸田アリーナ駐車場の整備工事が始まったよ。前の工事に地下へのトンネルが見つかったため、調査・設計のために工事が遅れていたんだって。駐車場は来年3月末に完成予定だよ。



町有地を探索



町有地の有効活用を進めていくよ！

町民プール跡地



北区グラウンド



大熊保育所跡地



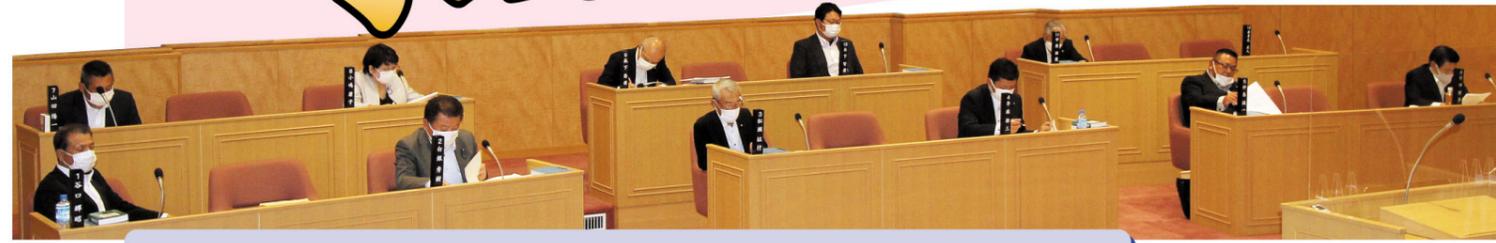
戸石グラウンド



多目的グラウンド



町政を問う!!



9月定例会では、9人の議員が※一般質問をおこない、活発な議論を展開しました。
質問と答弁を要約した内容は5ページから13ページです。

山田 陽一 (9ページ)

- 小中学校教職員の働き方改革について
- 依存症対策について



小嶋 康子 (5ページ)

- 公民館、集会所の老朽化対策支援
- 町の有機農業の取り組み 小規模農家への支援
- 町の図書館で借りた本を24時間返却できるポストを設置してほしい



早麻 雄三 (6ページ)

- 地域強靱化計画に係る避難所 および生活道路の整備



木下 智康 (7ページ)

- 子育て世代に対しての負担軽減について
- コロナワクチン接種について
- 町独自のイベント開催について。近隣自治体ではおこなっているがなぜやらないのか?



森下 喬廣 (8ページ)

- 町職員の職場環境について問う
- プレミアム商品券に係る使用期間等について



※一般質問／

議員が町の行政全般について、質問、政策提言をおこないます。糸田町議会は、一人50分以内でおこない、議会だよりには、各議員が要約したものを掲載しています。

| | | | | | | |
|-----|-------|--------|-------|-------|---------|-----|
| 執行部 | 総務課 | 防災管財課 | 税務町民課 | 地域振興課 | 人権推進課 | 教務課 |
| | 健康福祉課 | 子育て支援課 | 建築課 | 土木課 | 町立緑ヶ丘病院 | |

問 公民館、集会所の老朽化対策支援

答 個別計画を踏まえ検討、対応していきたい

問 地域住民をつなげる重要な場所である。建築されて40年は過ぎていると思う。行政区の財政だけでは賄いきれない屋根のやり替えなど、町としてのどのように支援されるのか。建物の保険はどうなっているか。

答 公民館、集会所の大半が昭和50年代前後に建てられたものが多く、町全体に36施設あって、老朽化が進んでいるのが現状。維持管理は行政区で担っている。組織上による人口減少および高齢化も進み、維持管理ができないことで返還された集会所もある。補修については、例えば網戸の張替や電灯の玉換え、水道の新設や補修、放送施設の管理などは地元で対応。排水管関係や雨漏り、屋根や外壁、床の補修など、改修金額が高額な部分について町で対応している。地元より相談があった場合はその状況に応じて対応したい。今後の老朽化対策は、区長の意見を聞きながら、個別計画を踏まえ検討し対応していきたい。

問 町民の人から「有機野菜や米を糸田町の道の駅で購入できないね。町全体で有機農業に取り組んで町のブランド化はできないか」との意見があった。この取り組みのアプローチとして、有機農業を学ぶ講座費用の助成、講演会の計画をしてもらいたい。大切な田んぼを守ってこられた小規模農家はグループで農機具など共同で使用している。この人たちにも、ぜひ支援をしてほしい。



答

来年度は助成も考えたい 修繕費等できないか検討

農業委員会で朝倉の研究施設へ視察に行っており、議論も踏まえ、まず葉物栽培をしている農家への

研修、講演会等を開いていきたい。意欲のある人には、来年度助成も考えていきたい。小規模農家の役割も小さくないものがあるかと考えている。例えば個人には難しくても、組合の農家に、機械購入は高額で難しいにしても修繕費等を検討したい。

問 町の有機農業の取り組み 小規模農家への支援

こじま やすこ 小嶋 康子

問 国のみどりの食料システム戦略に則って、公約で有機農業の調査研究を掲げて、施政方針で述べた。昨年度、

問 町の図書館で借りた本を24時間返却できるポストを設置してほしい

答 ニーズの調査とかをまずやった中で、設置の方法を検証しながら検討したい

一般質問

全文が知りたい人は、議事録を閲覧できるよ!





木下 ともやす 智康



はやま 早麻 ゆうぞう 雄三

問 地域強靱化計画に係る避難所および生活道路の整備

答 防災課長 備蓄品等を多く取り揃え、移動手段は職員配備をしている

答 土木課長 真岡団地交差点付近道路舗装改修工事を実施した

問 地域強靱化計画には、指定避難所および福祉避難所の整備促進として、食糧・飲料水の備蓄に合わせ、避難所における新型コロナウイルス感染症防止の徹底を図る、とあるが、その具体的な取り組み、および指定避難所等までの移動手段をどのように想定しているのか。

整備を進める、とあるが、その具体的な取り組みの説明を求める。

答 防災課長 備蓄品については、レトルトご飯やパン、みそ汁などのおかず類、飲料水、おむつなどの生活用品を取り揃えている。

移動手段について、移送する。

また、生活道路の整備として、老朽化した道路

感染対策としては、マスク、手指消毒液、パーテーション等を配備している。

真岡団地交差点付近の道路舗装改修工事により、道路雨水の排水処理が改善された。

問 子育て世代に対しての負担軽減について

答 2歳までの保育料の無償化など充実を図っていく

問 子育て支援金制度の見直しについて。

現在の子育て支援金支給制度

| | |
|-------|------|
| 第1子 | 3万円 |
| 第2子 | 5万円 |
| 第3子 | 10万円 |
| 第4子 | 20万円 |
| 第5子以降 | 50万円 |

※生活保護受給者は5万円限度

(育成奨励金)

第5子以降の出産祝金を受給し、かつ、保護者・出生児ともに子の出生から支給時期まで継続して糸田町に住民登録した場合に支給されます。

| | |
|---------|------|
| ①3歳到達時 | 20万円 |
| ②小学校入学時 | 30万円 |

※生活保護受給者は各5万円。

▲糸田町ホームページから抜粋

たことから実施をやめた。平成27年度より全部で9回、子どもの発達段階に応じたベビー用品やおもちゃ、絵本などの配布をおこなっている。

意味では定住促進につながると思う。今しばらく検討し、時期が来れば皆さま方に示したい。

問 新生児から2歳までの子どもにミルク、おむつを無償提供するのどうか。

答 子育て支援課長 ミルク補助は、平成14年3月に国の補助制度が廃止され

答 町長 選挙公約で子育て支援金制度の見直しを挙げ、生まれた順番に関係なく一律の金額を支給するため、小学校の入学祝い金を配布したい。町で子どもを産んだらずっと町で子どもを育ててほしい。そういう



問 コロナワクチン接種について

答 国の方針に従ってやっていく

問 厚生労働省は重症化率の低下などを踏まえて、健康な人には接種の勧奨や努力義務を適用しない方針だが、今後のワクチン接種はどのように考えるか。

答 町長 国の方針が示されたらそれに従って、必要な接種体制の確保を万全に進めていく。

問 XBB対応ワクチンは、生後6か月からすべての人が対象となり、今まで以上に血栓や血しょう障害が起こることが懸念されている、副反

応が増える可能性がある。全国で接種後に子どもが亡くなる報告が多く報告されている。生後6か月から打つのはどうかと、18歳未満の接種をやめてほしいと思うが無理だと思うので、18歳未満に接種券を送るのをやめてほしい。

これ質問

問 町独自のイベント開催について。近隣自治体ではおこなっているがなぜやらないのか？

答 町長 イベントが少ないと言っているのは実感している。検討していく

答 町長 専門家の意見を踏まえると、安全性が確保されていると認識。効果と副作用と両方理解した上で、強制的に打とうというつもりはまったくないので、そこは理解いただきたい。



やま だ よういち
山田 陽一

問 長時間労働の改善、業務の削減、休職者・離職者のケアについて。近年、社会現象となっている教職員の人材不足の一番の理由は、長時間労働にある。原因は、授業とは別の部活動にあるのではないか。業務の削

問 小中学校教職員の働き方改革について

答 校務支援システムを導入している

答 今、今長時間労働の実態は、先生は生徒への学習の保障、指導、保護者対応など対人関係に対応することが必要。学級の事務は、採点や学級費の徴収、連絡簿の返事、生徒に関する講評作成。授業に関わる教材研究に日々研さんに励んでいるため、超過勤務が発生している。子どもたちの成長に関わるころな

減をすることで、授業に充てるべき準備や予習・復習に時間が取れる、本来の先生たちのあるべき姿ではないか。先生の心の病気、うつ病等で休職者も増えている。そのまま離職してしまうこともある。復帰に向けるか、どのようなケアをしているか、町は対策をしているか。

ので、業務のどれを省く、削除することが非常に困難。業務の削減は、事務の効率化を図れるよう、校務支援システムを導入している。作業を支援するスクールサポーターを2人、ICT支援員も設置している。

休職者・離職者のケアについては、町では5年間休職者はいない。毎年カウンセラー診断をして、事前把握に努めている。発生した場合は適切な治療ができるよう、早い時期の対応を心がけていく。離職者については、相談に乗って、継続できるような体制をサポートしていかねばいけないと考えている。



たか ひろ
森下 廣

問 町職員の職場環境について問う

答 人事考課、職員配置、マニュアルの作成等、今後検討する

問 職員がやる気を出し、前のめりになって業務を遂行することこそが、町を活性化させる重要な要因であると考えられる。そのためには職場環境の充実が必須であり、急務である。そこで、町職員の職場環境について、以下の5点について問う。
(1) 能力の発揮・向上が見込める職場。
(2) 評価等について公平・公正である職場。

答 能力の発揮等について、職員の意欲を損なわず、研修に参加しやすくさせ、研修の成果を発揮できるように努める。

(3) ミスについて、しっかりとした対応がとれる職場。
(4) 職員の意見等をきちんと聞く職場。
(5) 住民対応がしっかりとっている職場。



人事考課制度について、部下が上司を評価する方法などもあるが、国の制度も考慮し検討する。ミスについて、フォローアップができる体制の構築について検討する。職員意見の聴取について、町長懇談会の継続を検討する。住民対応について、マニュアルの作成を検討する。

町政を問う

問 プレミアム商品券に係る使用期間等について

答 本施策をより良いものとするため商工会と十分な連携・協議をおこなう

問 プレミアム商品券は、地域に暮らす人々の消費を支えるとともに、地域経済の活性化が期待できる。そこで、使用期間等について問う。
(1) 使用期間について、9月からとした理由。
(2) 1枚当たりの金額について、1000円とした理由。

答 使用期間については、地域振興課では、キャッシュレス商品券の実施により、事業者の選定等に時間がかかったため9月からとなったが、今後は、商品券発行事務を早くから進め、商工会とも十分に連携していきたい。
1枚当たりの金額については、以前の商工会員の意見聴取により1000円となり、それから1000円が続いているが、利用者の利便性を考慮し、商工会と連携していきたい。
抽選については、商品券発行総数に応じて一人当たりのセット数の上限を変更するなど、商工会と連携・協議をおこなう。



問 依存症対策について

答 薬害防止教育を従来からしている

問 依存症は様々あり、一般的に言われているのが、アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存。町に相談があった場合には、治療機関等を紹介していると聞いている。依存症対策に力を入れてほしい。教育現場で指導を強化することで、入り口を遠ざけることで薬物依存も減るのではないか。

答 薬物乱用防止教育は、講師を招いたりして、入り口のところの薬害防止教育を従来からずっとやってきている。薬物に限らず、いろいろな依存症について、家庭と連携しながら学校と取り組んでいく。

昔は中学生や高校生がシンナーを吸うということがあったが、最近では、大麻、合成麻薬とかをよく耳にする。まず最初の芽をつぶす意味で教育が一番だと思うが。

答 小学校、中学校、きっちりと生徒指導していく考えは校長中心に持っているが、なかなか難しいところがある。授業時間を取ってでも、指導していくように取り組んでいく。





しろがね 白銀 ひでき 秀樹

答
健康福祉課長

4台保有で運行は2台。臨時便

問

福祉バスの保有台数と運行台数は。

福祉バスの運行台数や利用状況について

答 交通弱者等の利用で現在全4路線を運行している



答
健康福祉課長

交通手段を持たない交通弱者等が前提である。バス停は69箇所。利用者は1日約80人。

問

利用者の条件。バス停の数。1日の利用者数は。

1台。予備車両1台。

答
町長

各課連携した中で、検討するよう指示をする。その結果をもって方向性を示できれば、早い時期に示しをしたいと考えている。

問

小2の児童が不審な車に後をつづられたが、いまだに詳細がわからない。カメラを設置していたらそれなりの状況が分かっていた。カメラを設置することで抑止力にもなる。防犯という観点から、手始めに通学路の所要所にカメラの設置をお願いしたい。

答

前向きに検討する

通学路の防犯カメラ設置について



たにぐち 谷口 てるあき 輝昭

緑ヶ丘病院の建設候補地について

答 12月の議会には報告できる

問

基本構想策定は、令和5年7月までなので完了している。基本設計は8月で今がその段階である。建設候補地の絞り込みはできていると思う。

問

建設費の負担が病院経営や町財政に

答
町長

まちづくりの観点から、コンパクトシティという面から考えれば、民有地の確保という話もでてくるかも。町有地では町民プール跡地や金山アジサイ園。新鳥尾公園にある多目的グラウンド、北区のグラウンド、町民グラウンド、戸石グラウンドである。

問

建設予定地として考えている場所は。

答
町長

若干スケジュールが遅れている。12月議会で報告する。

与える影響を考慮し、できるだけ建設費を抑える場所と基本構想にある。民有地買収ならば、土地代、田んぼの埋め戻し等を考えると、かなりの金額となる。基本的には町有地での建設が望ましい。

答
町長

町有地もどちらにせよ扱わないといけない。掘削にすぐお金がかかる場合もある。財政的な面は当然考慮する。いろんな分析結果が出て判断したい。



問

指名競争入札から一般競争入札に変えた理由

よりよい入札方法を検討した結果

地域公共交通「いっこかー」の実証運行

答

課題を洗い出し町民が使い易いものにした

問

今回の実証運行は、今年9月をもって廃止となる西鉄バス金田・方城線に代わる町・内外への地域住民の移動手段の確保が大きな目的で、全町民が利用できることを目指しているが、障がいをもたれた人や車イスを使用している人、それと小学生などの通学時にも利用できるのか、それらの事について準備や対応はできているのか、町外への運行は今後どう考えているのか。

問

福祉バスの予備車両を「いっこかー」として、運行する考えはあるのか。

答
町長

初めての取り組みなので、今後地域公共交通会議において協議していく。

問

運行時間と、町外への運行を見直す考えはあるのか。

答
町長

福祉協議会と前向きに検討する。

答
地域振興課長

10月から実施する実証運行は無償で、全町民対象である。現在注文中の障がいのある人に配慮した車両が、来年3月入荷予定で、4



▲受付オペレーター



▲福祉バス(左)と「いっこかー」(右)の乗りやすさを比較▲

町政を問う

町政を問う

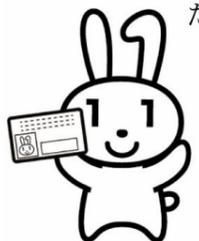


まさゆき 松瀬

問 マイナンバーカード 関連の質問をする。「市町村のトラブル調査等」マイナンバーのトラブルは、年金の誤入金

答 本町へ住民から のトラブル情報 や、カード返納の申出の 報告は現在寄せられてい ない。

答 普及促進を図る 意味で、本町に ついても出張申請をおこ なった。



問 マイナカード取得に職員を 出張させる必要は

答 普及促進を図る為、 本町も出張申請をおこなった

問 本町のトラブルの 内容、件数、カード の返納者は。

答 国県から本町へ のマイナカード 関連のトラブル事案等の 調査依頼は、現段階では 来ていない。

など様々な形で発生して いる。 政府は、マイナカード の個別データを11月末ま で総点検するよう自治体 に求めている。 具体的な指示や調査の 内容は。

問 トラブル続出で町 民の疑念が広がる 中、この時期に職員の労 力と時間を費やす出張を してまで、マイナカード 取得の職務をさせる必要 があるのか。

答 周知方法は、広 報誌と全戸配布 「経費」はチラシ3千枚 の製作費4万9千500円、 タブレット2基約10万円、 その他合計で約18万5千 円、出張実績は3件。

問 マイナカード出張 申請等で質問する。 出張申請のチラシの枚 数、周知方法、作製費用、 現在の申請実績は。

答 国民の信頼を得た上で、 移行を考えるべきだ

問 健康保険証を廃止し、 マイナ保険証への見解

問 健康保険証をマイ ナンバーカードに 一体化のマイナ保険証の 見解を問う。

政府は国民にマイナン バーカードの取得は個人 の任意としながら、健康 保険証をマイナカードに ひもつけ、一体化したマ イナ保険証に移行して、 来年の秋、健康保険証を 廃止する方針だ。

答 マイナ保険証へ の移行については、 国民の信頼を回復するこ とが第一だ。政府による、 再発防止策とか総点検を 終えた上で、国民の信頼 を得て移行を考えていく べきだ。



せいいち 仲島

問 小中学校の体育館の 建て替えについて

答 糸田町の学校施設基本構想 の中で検討

問 小学校が47年、中 学校が53年。中学 校は鉄筋がむき出し状態 で、小学校はトイレの扉 を開くのも困難。避難所 であるが和式トイレしか ない。耐震強度、耐用年 数はどうなのか。

答 耐震性は小中学 校の体育館は、 RS造と呼ばれる構造体。 平成18年実施の糸田町 立学校優先度調査で、最 も改善の必要性が高い。 1から耐震性がある5の

問 中学校の 体育館は、 小窓の機能果た せてなくコンパ ネ貼る状態。熱



答 財源的に非常に 厳しいが、糸田 町の学校施設基本構想の 中で検討しながら、財政 的な面も鑑みつつ、文教 施設についても建て替え の検討をしていきたい。

中症対策としてエアコン 設備もない。建て替え検 討願う。

問 ごみ袋が少しでも 安くならないか

答 新ごみ施設稼働に向けて、 ごみ袋販売価格も協議中

問 田川市郡でも糸田 町が一番高いので、 少しでも安くならないか と町民の皆さんによく言 われる。 高い理由等、事情を聞 きたい。

答 分別収集として、 平成10年10月に 下田川4か町で統一した 内容、手数料でスタート したが、自治体の1つが 価格改定をして、当初の 販売価格から下がったと ころで販売。 糸田町は当初の規約通 りの単価で販売しており、 差額が出た。販売価格に ついて糸田町が一番高い 状況にあり、早期の価格 見直しが望まれているが、 現在、新ごみ施設稼働に 向けて、構成市町村の間 で、ごみ袋の販売価格も 含めて継続協議中であり、 施設組合設立準備室での 協議結果をもって、糸田 町指定ごみ袋価格改定の 提案をおこないたい。

問 これも 質問

答 特別支援教室に専門性の高い指導者を 配置する事で、学力の向上とらならないか 本町では、より手厚く支援する為、支 援員を4人町費で雇用し改善している

研修報告



町村議会1期目議員等研修会

8月17日

主に1期目の議員を対象とした研修会が開催され、議会から4人が参加。

元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏うちだかずおによる「議会運営と質問の基本的な考え方」と題した講演は、議会の構成、議会運営、発言を巡る留意事項、質問と質疑について学べた。

◆出席議員… 白銀、早麻、仲島、森下
◆欠席議員… 木下



常任・議会運営委員長・副委員長研修会

8月18日

議会から正副委員長6人が参加。

内田一夫氏うちだかずおによる「委員会の進め方」と題した講演を傾聴して、委員会運営の重要性を改めて見直すことができた。

◆出席議員… 松瀬、早麻、竹田、小嶋、森下、中原



令和5年度町村議会広報研修会

9月26日

全国町村議会議長会が主催する令和5年度町村議会広報研修会に議長、議会広報常任委員会から委員長と副委員長が参加した。

広報誌作成にあたっての権利の問題やレイアウトの工夫の仕方等の講演は、議会だより作成に参考となった。

◆出席議員… 井手元、小嶋、森下



目に留めてもらいやすくするのは大事だね!

建設厚生常任委員会

主に、健康福祉課・子育て支援課・建築課・土木課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審査調査します。

東西保育所の保育料無償化に伴う財源更正 子育て支援課

説明 0歳～2歳までの保育料の無償化を今年10月から実施することに伴う財源更正。

Q 他の年齢は対象ではないのか。

A 3歳～5歳までは既に無償化している。

要望 副食費も無償化している町村もある。財政的に厳しいかもしれないが、努力してもらいたい。

※財源更正って?

歳出予算額は増減せず、その歳出の財源の内訳を変更することだよ。

今回は保育料(自己負担)の財源を一般財源(町の税金)に更正したってことだよ。

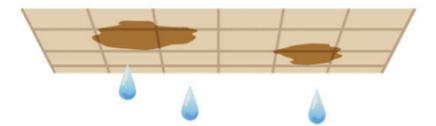


保健センターの屋根や外壁等の工事 健康福祉課

説明 保健センターの雨漏りを防ぐため、外壁や屋根を補修するための費用。

雨漏り箇所の調査をしたが特定に至らず、全面的な補修が必要となる。

要望 特定に至らない状態で工事をすれば、完了後に再び雨漏りする可能性がある。その際は設計会社にも責任を負わせるべき。



総務文教振興常任委員会

主に、総務課・防災管財課・税務町民課・地域振興課・人権推進課・教務課に関する事項を審査調査します。

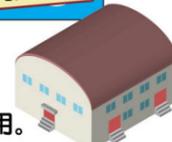
基幹システム更新作業委託料 総務課

説明 糸田町の基幹システム等を田川情報センターに町村で共同設置しているが、田川情報センターを含む周辺地域の再開発に伴い本年9月に廃止されることとなり、基幹システムを国が推奨する自治体クラウドに移行するための費用。



糸田町学校施設基本構想支援業務委託料 教務課

説明 糸田小・中学校にある施設(体育館等)の中長期的な整備方針を策定するための費用。



スケートボード備品費 地域振興課

説明 スケートボードのジャンプ用スロープや貸出用のヘルメットやプロテクターを購入するための費用。

設置場所は糸田アリーナの階段横付近となる。

要望 これをきっかけに今後も糸田町内で子どもたちが遊べる場所を増やしてもらいたい。

要望 他のアリーナ使用者との事故がないように安全面を配慮してもらいたい。



中学校の生徒が町長に提案して実現するんだって(社会科授業の一環)

副議長に不信任決議案

9月定例会初日9月7日において、小嶋康子副議長へ不信任決議案が2件提出された。

【提案理由】 提出者：木下 智康 議員

令和5年6月14日の令和5年第2回定例会中、小嶋康子副議長が「議長という方はあまり卑しい根性ちゆうか、いろんな疑惑を持たれるような議長になるような方は議長になってほしくないという思いで、財政的にも豊かな人のほうがいいんじゃないかなと。」との問題発言がありました。

この発言は卑しい根性の人々が糸田町議員の中にいると言う発言にも取れます。これは糸田町議員全員に対しての侮辱であります。

このような発言は副議長としての資質、品格が著しくかけていると言わざるをえません。

よって、地方自治法第132条(品位の保持)、第133条(侮辱に対する処置)、および糸田町議会会議規則第102条(品位の尊重)にあたる。

以上の理由により、小嶋康子副議長不信任決議案を提出するものであります。【決議全文】

反対討論 谷口 輝昭 議員

私は副議長が公正、公平、平等に職務を果たしていると思います。よって、私は信任します。不信任案には反対をいたします。

井手元議長、小嶋副議長、欠席議員1人を除く9人で採決をおこない、賛成4人(白銀、仲島、山田、木下)、反対5人(谷口、早麻、竹田、森下、中原)で**否決**された。

【提案理由】 提出者：山田 陽一 議員

令和5年6月23日の糸田町議会定例会最終日において、木下議員より、本人および木下議員の支援者を侮辱した発言があったとして、小嶋康子副議長に対して不信任の動議が出されました。賛成少数で否決になりましたが、侮辱発言に弁明することもなくその後、今日に至った今も、木下議員および木下議員の支援者に対して謝罪の言葉もありません。木下議員に対して「今回の選挙は上がるとは思ってなかったでしょう」と言う発言は、木下議員を見下したような発言であり、無礼、極まりない。このような発言は副議長としての資質、品格が著しくかけていると言わざるをえません。

よって、地方自治法第132条(品位の保持)、第133条(侮辱に対する処置)、および糸田町議会会議規則第102条(品位の尊重)にあたる。

以上の理由により、小嶋康子副議長不信任決議案を提出するものであります。【決議全文】

反対討論 谷口 輝昭 議員

副議長は公正、公平、平等に私は職務を果たしていると思います。よって、私は信任します。不信任案には賛成できません。反対でございます。

井手元議長、小嶋副議長、欠席議員1人を除く9人で採決をおこない、賛成4人(白銀、仲島、山田、木下)、反対5人(谷口、早麻、竹田、森下、中原)で**否決**された。

懲罰特別委員会(山田 陽一 議員)を設置

委員長：竹田 照美 副委員長：谷口 輝昭 委員：松瀬 征行、早麻 雄三、小嶋 康子、中原 詔蔵

【理由】 令和5年9月7日、本会議中において、懲罰特別委員会で審査報告され可決された、懲罰処分の公開の議場における陳謝に対して、陳謝分の朗読を拒否したことは、糸田町議会会議規則第102条に反し、議会の議決を軽んじた行為であり、議会の秩序を乱すものであります。よって、懲罰を求めるものです。【懲罰動議文書抜粋】

以上を理由に、9月7日定例会初日において、懲罰特別委員会が設置された。

決算特別委員会について

委員長：仲島 誠一 副委員長：白銀 秀樹

第3回定例会で令和4年度決算議案の審査をするため設置。今年度は議長と議選監査を除く10人が委員となる。



令和5年第3回糸田町議会定例会 (9月7日~9月15日)

| 件名 | 結果 | 詳細 |
|--|------|------------------|
| 令和4年度糸田町一般会計歳入歳出決算認定について | 継続 | 全 会 一 致 |
| 令和4年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について | 継続 | |
| 令和4年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について | 継続 | |
| 令和4年度糸田町学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について | 継続 | |
| 令和4年度糸田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 継続 | |
| 令和4年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計歳入歳出決算認定について | 継続 | |
| 糸田町文化会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例 | 可決 | |
| 令和5年度糸田町一般会計補正予算 | 可決 | |
| 令和5年度糸田町後期高齢者医療特別会計補正予算 | 可決 | |
| 工事請負契約の締結について | 可決 | |
| 人権擁護委員候補者の推薦について | 適任 | 致 |
| 工事請負契約の締結について | 否決 | |
| 工事請負契約の締結について | 可決 | 全 会 一 致 |
| 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について | 採択 | |
| 国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書 | 趣旨採択 | |
| 健康保険証の存続を求める意見書採択についての陳情書 | 採択 | |
| 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書 | 可決 | 致 |
| 健康保険証の存続を求める意見書 | 可決 | |

□は賛成 □は反対
※議長に表決権はないため「-」としています。
可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 谷口 | 白銀 | 松瀬 | 早麻 | 仲島 | 竹田 | 山田 | 小嶋 | 森下 | 木下 | 中原 | 井手元 |
| | | | | | | | | | | | - |

工事請負契約の締結について【糸田アリーナ駐車場建設工事(6-1工区)】

反対討論趣旨(谷口)

町に届いた招待券は、町の代表である町長、副町長、教育長か、それに準ずる役職の人物が使用するべき券である。にもかかわらず、三役の一人を強制的に除外し、建設業者の社長に券を渡し、パーティ会場に同伴するとは、町民の信頼を根本的に覆すものであり、あってはならないことである。この業者の社長を町の代表の一人として、自分の中で認識しているからこそ、何のためらいもなく三役の一人を除外したと考えられる。この業者は、行政を司る一人として私は考える。いずれにせよ、今までの言動を考えると腑に落ちない。いろんな意味で、正しい判断かといったら問題点があるし、町民感情を侮ってはならない。したがって、反対である。

賛成討論趣旨(仲島)

知事の県政報告会で、町長と公用車に同乗して参加したことをもって町の代表者であるとの個人的見解には納得しがたい。この意見に賛同する方々は、何をもって町の代表者と考えるのか明確にしてほしい。また、公正な入札手続きで落札した結果を、確たる根拠もなく、疑念があるから反対することにも納得しがたい。
よって、反対する理由が見当たらず、賛成する。

執行状況 (令和5年7月~9月)

| 日付 | 摘要 | 支払金額 |
|-------|---------------|---------|
| 8月13日 | 初盆(5,000円×6件) | 30,000円 |
| 9月27日 | 国会議員陳情 手土産代 | 2,964円 |
| 合 計 | | 32,964円 |



議長交際費

入札結果

| 工事名 | 業者名 | 予定額(円) | 最低制限価格(円) | 金額(円) | 落札率(%) |
|-------------------------|------------|------------|------------|------------|--------|
| 宮床団地(第4期)造成・歩道設置工事(1工区) | ㈲山口工業 | 37,248,000 | 33,397,000 | 33,500,000 | 89.93 |
| 三谷団地外壁等改修工事(1工区) | ㈲幸組 | 41,300,000 | 36,958,000 | 37,000,000 | 89.58 |
| 三谷団地外壁等改修工事(3工区) | 令和工業 | 15,100,000 | 13,641,000 | 13,741,000 | 91.00 |
| 宮床・山の神線舗装補修工事 | 良建 | 6,450,000 | 5,888,000 | 5,900,000 | 91.47 |
| 稗田・下糸田線舗装補修工事 | タニテック | 5,252,000 | 4,733,000 | 4,741,000 | 90.27 |
| 糸田町学童クラブ解体工事 | 秀龍トータルテック㈱ | 49,690,000 | - | 22,100,000 | 44.47 |

こんにちは♡いとだまちがいです



とよぶく ながまさ
豊福 長正さん
(90歳)
(糸田町在住)

これからの国際交流
はどんな活動
を目指して
いますか？

オイスカ事業の再開を
待っています！

国際交流 英会話 (人材バンク講座)

Let's study!

Three words to describe
your childhood.

「あなたの幼少期
を表す3つの言葉
は？」と質問して
いるのかな？



ノールズ・
ディアンリー先生
(アメリカ・
フロリダ州出身)



▲先生とフランクな会話で楽しむ
受講生の皆さん

受講生の皆さんの答えは…



Fishing!
(釣り)

Chuganji River!
(中元寺川)

Happy!

Great!
(すごいね!)



編集後記

今回は、人材バンク講座の国際交流
英会話教室にお邪魔しました。

議会広報常任委員会
委員長 小嶋 康子
副委員長 森下 高廣

委員 谷口 輝昭
委員 白銀 秀樹
委員 木下 智康
委員 中原 昭蔵



オイスカ事業って？

アジア太平洋地域を中心に世界41の国と地域で農村開発、人材育成、環境保全活動等を実施。
糸田町でもオイスカ農業研修生と農業等を通じて交流を深めている。

国際交流の歴史(概略)

- 昭和47年7月 会創設
- 昭和48年8月 組織結成後初めての交流事業
オイスカ研修生を招へい
- 昭和49年3月 第1回農業研修受け入れ事業
- 昭和54年9月 糸田小学校とミンダナオマリナオ小学校との文化交流
- 昭和55年5月 第1回海外青年と婦人の集い
- 平成21年~平成25年 子ども大使派遣事業に協力
(ネパール、サイパン、デンマーク等)
- 平成22年5月 英会話教室開講

※平成24年までに46の国や地域から来訪

「議会だより」アンケート募集中!

皆様の声をお聞かせください。

設置場所

- ・糸田町役場1階 健康福祉課前
- ・糸田町役場3階 議場傍聴席入口
- ・糸田町社会福祉センター 入口正面

議会を傍聴に
来ませんか